

# 平成30年度実績に係る部局評価書

部局名:生命機能研究科

【評価区分1】 部局評価計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

## 【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	S	平成30年度計画の達成状況が優れている。
		国際性に富む人材育成のため、外国語による授業科目の割合を3.8%から7.4%に増加させたことが評価できる。
【研究】	SS	平成30年度計画の達成状況が非常に優れている。
		CREST研究代表(5件)、新学術の領域代表(2件)、海外のグラント2件(HFSP及びNIH)、JSPSの日中韓フォーサイト事業(1件)等の大型研究費を獲得し、各種メディアへの情報件数も32件から72件に大きく増加していることが非常に高く評価できる。
【社会貢献】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【グローバル化】	S	平成30年度計画の達成状況が優れている。
		クロス・アポイントメント制度を活用してUCLとOxford大学等の優れた研究者をリクルートすることに成功したこと、また、国際共同研究促進プログラムで採択されている2件の他、台湾の大学と部局間学術交流協定を結んだ上で、ジョイントラボを設置した2件を加えて、計4件を設置したことが評価できる。
【業務運営】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。

## 【評価区分2:「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p><b>【評価コメント】</b>            常勤教員一人当たりの論文数について、論文発表とその前提となる論文投稿のインセンティブを高める方策を検討することで実績の向上が期待できる。            常勤教員一人当たりの科学研究費補助金の獲得金額及び公開講座等の実施件数について、積極的に取り組むことで実績を大きく伸ばしていること、大学実績に大きく寄与していることが評価できる。</p>
---